



シルバーありだ川

公益社団法人
有田川町シルバー人材センター

〒643-0153
和歌山県有田郡有田川町大字中井原112番地1
電話 0737-32-5505
FAX 0737-32-5501
URL <http://www.sjc.ne.jp/aridagawa/>
Mail aridagawa@sjc.ne.jp

紫陽花

撮影者：笹本 教導 氏



農家への就業方策が課題

理事長 早川 俊彦

有田川町シルバー人材センターの皆様、平素はセンターの運営に格段のご尽力とご協力を頂き厚くお礼申し上げます。
今度熊本地震で被災されました皆様には慎んでお見舞い申し上げます。一日も早い復興を祈念いたします。

さて、シルバー人材センターは、ご存知の通り平成十八年に金屋、吉備両センターの統合と清水地区の方々の参加で本センターが誕生いたしました。本年で九十年を迎えました。次項以降に、「目で見る10年」「10年を振り返って」を掲載しています。合併当時の会員数や契約金額等から始まって、10年間の主な出来事等を記載していますのでご参照ください。
会員皆様方のご努力での成果であると感謝いたしております。

政府は、「一億総活躍社会」を目指す中で、地域の雇用掘り起こしのため、シルバー人材センターの就労時間の上限を派遣や職業紹介事業に限り、週二十時間から四十時間に引き上げると言われており、清掃や駐車場管理などに偏りがちだった職域が人手不足の方向へ広がることを期待されています。このような期待は、農村である本町へはどのように係ってくるでしょうか。

また、最近の新聞報道では、平成二十七年の農業センサスは前回の二十二年に比べ、農業就業人口は五十一万六千人の減少で、平均年齢は六十六・三才で〇・五才の上昇であり、農家の減少と高齢化が改めて示されました。

なお耕作放棄地は、四十二万四千ヘクタールで七・一パーセント増加し、農地バンクの実績は上がっていないようです。和歌山県や有田川町もこのような全国的傾向ではないでしょうか。本町では、農業に重点を置いたシルバー人材センターの就業対策の方策が重要かつ必須ではないかと思えます。農業従事者の高齢化や、労働力不足が今後一層深刻化するものと推測されます。私たちシルバー人材センターが、労働力不足の農家の経営を補完する活躍ができる体制の確立が一日も早く達成し、シルバー人材センターの存在感が益々期待されるよう努力していかなくてはと痛感するところでは、この上ブランド物である有田みかんの生産量の維持・向上に寄与できれば、この上なく素晴らしいことと思えます。

最後になりましたが、会員皆様方のご健勝と一層のご活躍をお祈り申し上げ第十号発行のご挨拶といたします。

10年の歩み

22年 21年 20年 19年 18年

平成
年度

理事長



藪田 一美

事務局長

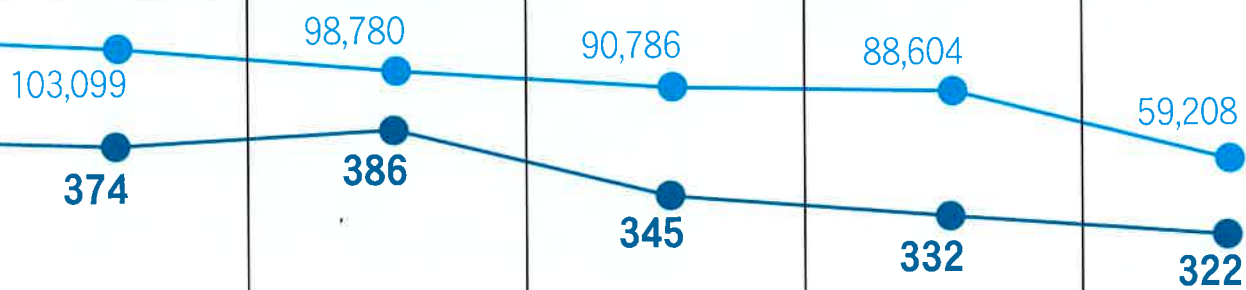


舟場 瑛

基礎情報





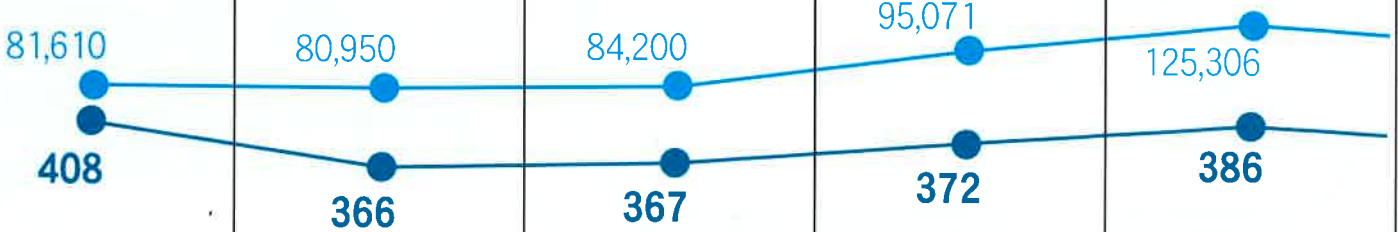
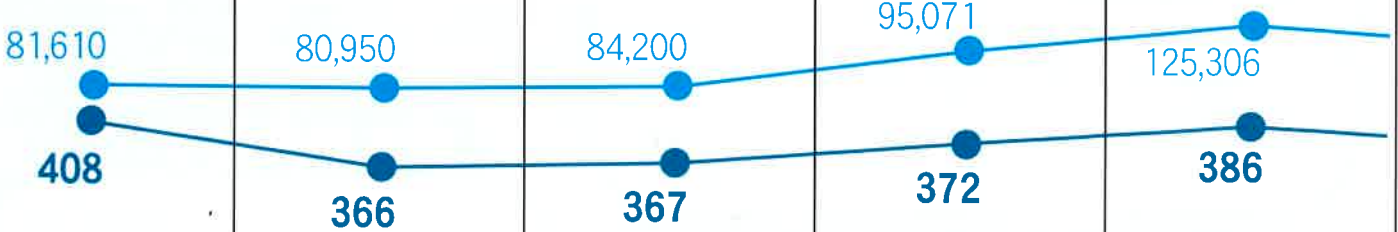
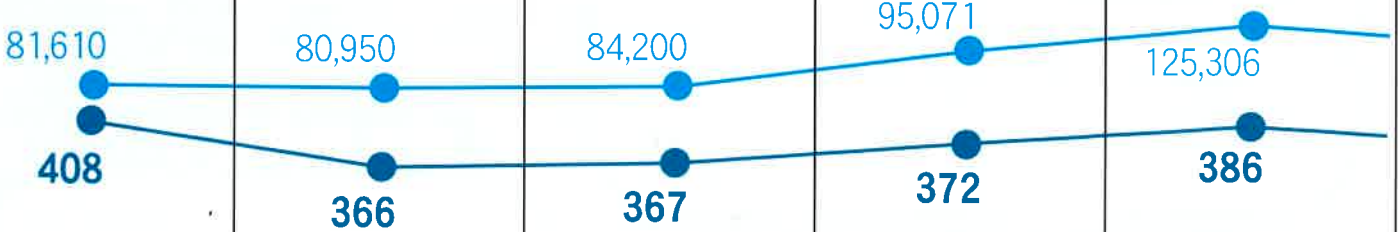
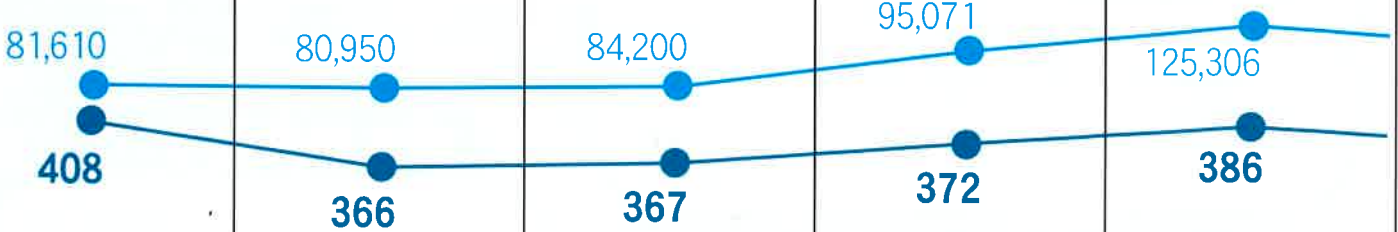
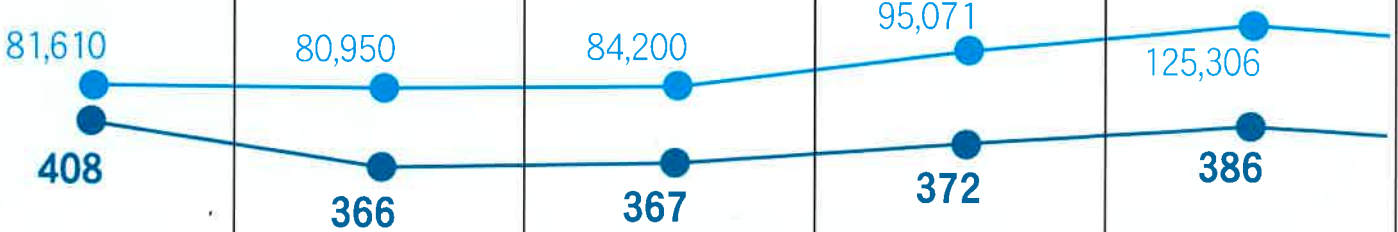
主要な出来事

契約金額 (千円)
会員数 (人)



- 4月1日 社団法人有田川町シルバー人材センター発足
- SP事業で技術・技能の講習会を実施(就業機会を得るために)
 - ・子育て支援
 - ・ハウスクリーニング
 - ・警備アシスタント
 - ・網戸張替え
 - ・蜜柑剪定・摘果・収穫
- 町内県道・国道不良箇所点検報告(ボランティア)
- 安全適正就業対策事業「危険予知活動の実施」
- 合理化推進委員会先進地視察(近江市、橋本市)
- 契約金額目標に対し、伸び率150%達成(8800万円)
 - ・積極的に技術・技能講習会実施
 - ・農業支援45名、家事支援20名、警備アシスタント20名
 - ・緑地保全管理20名、子育て支援20名
- 独自事業の「刃物研ぎ」スタート
- 独自事業「火災警報器販売取付け」
 - 目標200個に対し838個達成
- SP事業の実施 子育て支援27名、農業支援32名
- 紀の国森づくり事業にて二川天城山頂上付近整備
- 契約金額9078万円達成(達成度5%減)
- 緊急雇用創出事業スタート(主に国道の草刈り)
- 合理化推進委員会で「一本部事務所」に決定
- SP事業の実施 農業支援25名、子育て支援25名
- 清水連絡所開所(1/13)
- 企画提案事業「21世紀のご用聞き活動」
 - ・ポスター配布
 - ・状況調査実施
- 緊急雇用創出事業に参画(明恵峡温泉芝桜植え他整備)
- 新公益法人対策プロジェクトチーム編成(10月)
- SP事業 訪問介護員養成研修20名
- 合理化推進委員会先進地視察(新宮市、田辺市)
- 家事支援地域スタッフ全員対象研修会実施
- 契約金額(念願の一億円を達成)

目でみる

27年	26年	25年	24年	23年
←	 早川 俊彦	←	 柏田 榮二	←
 伊澤 頼宣	←	←	 中西 一雄	←
				
<ul style="list-style-type: none"> ● あんしん電話の「電池交換」委託事業 ● S P 事業 農業支援技能講習（前・後期延べ八日間） ● 事務局体制が大きく入れ替わった ● シルバー同好会延べ参加人員1000人突破 ● 学童保育指導員の呼称変更（指導員から支援員、補助支援員に） ● 「請負契約」が主体だが「派遣契約」も可能になる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 旧消防署跡地への事務所移転を町に請願 ● 一般労働者派遣事業契約2件（受託事業収益とは別扱い） ● あんしん電話の「電池交換」委託事業 ● 「会員への情報提供システム」検討委員会の設置 ● 「地域班 モデル地区として二川・中井原・下津野」に設置 ● 職群班「農薬散布グループ」結成 	<ul style="list-style-type: none"> ● S P 事業 農業支援技能講習（前・後期延べ一〇日間） 大阪中央卸売市場見学含む ● あんしん電話の「電池交換」委託事業 ● 子育て支援スタッフ養成研修（8日間） ● 積極的な「安全講習・安全パトロール・健康診断」の展開 ● 町の介護予防アンケート調査委託事業（3068人） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 四月から「公益社団法人」認可スタート ● 放課後児童健全育成事業がスタート ● 四月から職群班「草刈りグループ」結成 ● 家事支援スタッフの外部講師による講習会 ● 「近シ協管内職員研修会」で21世紀の「用聞き事例発表 ● 三年間の企画提案方式による「地域安心支援事業」終了 	<ul style="list-style-type: none"> ● 企画提案事業（21世紀の「用聞き」活動フル回転 ● シルバー同好会発足（趣味を通じての仲間づくりがスタート） ● 家事支援部員の外部講師（ニチイ学館）による研修 ● 緊急雇用創出事業終了（有田川河川敷の樹木の伐採等） ● 三年間の企画提案方式による「子育て支援事業」終了 ● 契約金額、過去最高額（一億二千五百三十万円）

振り返って

シルバーの歩み

金屋町シルバー人材センター

- ・誕生 平成14年4月1日、 役場の一室
- ・役員等 数田理事長、舟場事務局長、他 会員約70名
- ・状況等 “高齢者に合った制度”を調べていて、初めてシルバー人材センターを知ったのが始まりだった。

吉備町シルバー人材センター

- ・誕生 平成16年4月1日、 社会福祉協議会の一室
- ・役員等 柏田理事長、須佐見事務局長、他 会員約80名
- ・状況等 町長の選挙公約に“シルバー設立”を掲げてくれた。町のバックアップが得られたのが大きかった。

社団法人 有田川町シルバー人材センター

- ・誕生 平成18年4月1日、 現本部事務所
- ・役員等 数田理事長、舟場事務局長、他 会員約300名
- ・状況等 清水町にはシルバーが設立されてなかったが、町合併を機に清水地区会員約30名を含めての発足となった。町職員の力を借りて法人化手続きをした。町の補助に加えて国からの補助も受けられるためであった。町内への就業開拓が毎年の課題だった。年々会員数が増え請負契約も増加した事が、当時の喜びであった。

企画提案方式による補助事業

1. 「子育て支援」補助事業

- ・平成18年度より独自事業として「子育て支援」を開始。SP事業を利用して「支援員研修」を重ねた。当時の子供達は現在高校生となっています。
- ・平成21年度から3年間の企画提案方式の補助事業に代わった。翌年より吉原の「つばさ」が加わり、学童の人数が増加した。
- ・平成24年度から放課後児童健全育成事業となり、町を窓口とする運営となった。現在18名の支援員によって約60名の学童を見守ってくれている。ご苦労も多いが、地域に貢献している事を誇りに励んで頂きたい。

2. 「地域あんしん支援」補助事業

- ・平成21年度より事前調査のため「家庭訪問」から始まった。町内一人暮らし1500名の内、支援員が約650名を訪問“どんなことで困っているか”を調査した。
- ・平成22年から24年の3年間「地域あんしん支援 / 安心サポート 21世紀のご用聞き」がスタートした。主体は、一人暮らしの方の安否・健康確認。身の回りでの困ることを手伝う(家事、ご用聞き)だが、シルバーの就業開拓に一翼を担ってくれた。
- ・平成24年度報告で、支援員40数名で、年間延べ3250軒を訪問したと聞いたが、特に山間部は移動距離も長く大変だったようでした。

語ってくれた方々

数田一美
(元理事長)

柏田榮二
(前理事長)

舟場 瑛
(元事務局長)

中西一雄
(前事務局長)

須佐見 健
(前理事)

(進行)
田中弘幸
(現広報部長)

向林義郎
(現広報部)

(敬称略)

安全関係について

- ・全国理事長会議で弁護士より「理事長は名誉職だと軽い気持ちで引き受けるな。重大災害が出れば、場合によっては訴えられる立場にあることを心得よ」とのこと。
- ・スタート時より「安全専門委員会」を設置し“安全は何事よりも優先する”で取組んできた。幸いこの10年間、重大災害はなく、会員のご努力に感謝している。しかし、過去の災害内容を見ると一歩間違えば重大災害に結び付くものもある。会員の皆さんは「わしは大丈夫だ」という過信もあるが落とし穴もある。そこを補うのが安全専門委員会によるパトロールだと確信している。会員さんは現場パトロールは自分の安全を振り返るチャンスと受け止め、怪我の無いシルバーを目指していただきたい。

10 年 間 を

今後の課題

- ・農業支援で、特に農繁期に発注者の要望に応えられないことが多くなってきた。会員不足か、単価の面等々なのか、現状把握と対応が必要であるだろう。
- ・介護制度の改正で、町を窓口とするサービスが多くなる。その一部をシルバーでという考えがあるようだ。1事業所としての体制をつくり、家事支援をする会員に対する研修を重ね、“頼りになるシルバー”であることを願います。



過去最高の契約金額達成

緊急雇用創出事業は、平成 21 年度から 23 年度まで実施された。

- ・平成 21 年度は、国道 424 号沿線の草刈り作業を受注。
- ・平成 22 年度は、明恵峡温泉の芝桜植え、他周辺整備。
- ・平成 23 年度は、広範囲な有田川河川敷の樹木伐採搬出処理。



● **平成 23 年度は、過去最高契約金額 1 億 2500 万円達成。**
当時の会員さんが良く対応してくれたと感謝している。

就業機会の減少を体験

- ・シルバーが民間企業を圧迫していると報道され、随時契約が出来なくなり、入札制度となった。国道の草刈り等も入札で、不況で人手を抱える会社の落札が多くなった。
- ・シルバーは請負業務が主体で、相手先の指揮下での派遣業務が認められなくなった。よって「こころの医療センター / 年間 800 万円」「長尾製缶 / 年間 450 万円」等の契約実績が無くなった。
- ・警備を含む宿直業務は、シルバーで対応出来なくなり、役場の宿直業務はシルバーの契約から外れた。

事務所の統合について

- ・“一つの町に一つのシルバー” を目指し取り組んできた。
- ・平成 21 年度の合理化推進委員会で「1本部事務所」に決定。
- ・しかし、特に吉備地区は会員が多く、利便性等を考えると吉備連絡所の閉鎖には、種々問題点もあり鋭意検討を重ねてきた。
- ・平成 26 年度から旧消防署跡地の建物をシルバー本部事務所としての使用を町に請願した。町長他、関係者も前向きに検討を進めてくれている。
- ・平成 27 年度より、事務局長・局員が交代した面もあり現状に至っているが、旧消防署跡地が利用できる段階で、本部事務所として統合するのが妥当であると思う。

● 風景：有田川町生石高原の小道

1. 事業実績 (H.27年度)

(1) 月別受託件数と契約金額実績

月別	受託件数	契約金額(千円)
4月	104	5,943
5月	134	6,030
6月	133	7,096
7月	139	7,117
8月	162	7,745
9月	172	9,692
10月	165	9,460
11月	112	6,060
12月	91	6,420
1月	83	4,637
2月	74	5,310
3月	122	6,099
合計	1,491	81,609

(2) 契約先別受託件数と契約実績

契約先別区分	件数	契約金額(千円)	割合(%)
官公庁関係	322	30,209	37.0
一般企業等	215	22,922	28.1
一般家庭	942	28,330	34.7
独自事業	12	148	0.2
合計	1,491	81,609	100.0

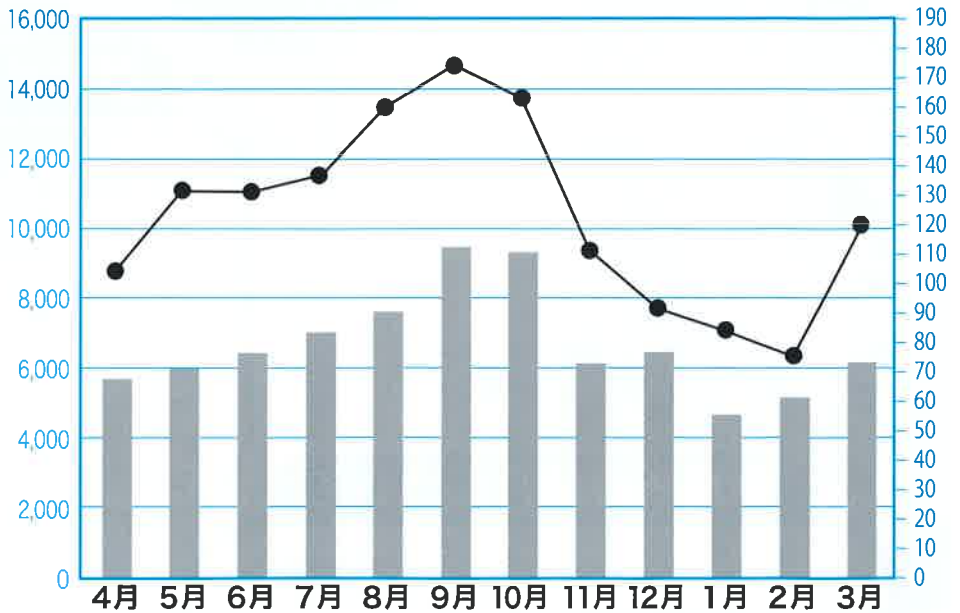
(3) 職群別内訳実績

区 分	受託件数	契約金額(千円)
技術職群	35	1,226
技能職群	70	3,034
事務整理職群	0	0
管理職群	139	13,535
折衝外交職群	31	1,067
一般作業職群	1,122	57,823
サービス職群	94	4,924
その他	0	0
合計	1,491	81,609

月別受託件数と契約金額事業実績



■ 契約金額 (千円)
● 受託件数



2. 労働者派遣実績

シルバー人材センターは主に請負業務ですが、H25年度より派遣業務（相手先の指揮

・命令で仕事をする）が出来るようになりました。会員は県シルバー連合会と契約し、報酬は給料として受け取ります。契約金額は当シルバーの実績となりませんが、会員の業務拡大に結びついています。

	H25年度	H26年度	H27年度
契約件数(件)	3	3	4
契約金額(千円)	7,776	8,094	3,280
就業実人員(人)	17	15	23

SP事業 (シニアワークプログラム) の実践&予定

※主催:和歌山県シルバー連合会、実施:有田川町シルバー人材センター

◎平成 27 年度実績

講習会名	実施期間	日数	受講人員	内 容
農業支援技能講習会	前期 H27. 7. 21 ~ 7. 24	4 日間	14 名	草刈り、摘果、市場の視察等
	後期 H28. 1. 25 ~ 1. 28	4 日間	14 名	蜜柑・八朔剪定、梅・山椒剪定等
講習会名	実施期間	日数	受講人員	内 容
介護補助講習	H27. 12. 15 ~ 12. 18	4 日間	8 名	介護補助の基本と実技等

◎平成 28 年度実施計画 (予定)

SP事業部では、農業支援技能講習会(柑橘、落葉果樹の剪定・摘果等、またチェーンソー、草刈り機の使用方法等)を予定しています。興味のある方はご参加ください。

講習会名	実施期間	日数	受講人員	内 容
農業支援技能講習会	前期 H28. 7. 19 ~ 7. 22	4 日間	15 名	草刈り、摘果等
	後期 H29. 1. 23 ~ 1. 26	4 日間	15 名	蜜柑・八朔・梅・山椒剪定等
その他講習	H28. 9. 14 ~ 9. 16	3 日間	10 名	家事清掃サポート講習
	H28.12.13 ~ 12.15	3 日間	10 名	高齢者向け調理補助講習

安全・適正就業委員会からのお知らせ

有田川町シルバー人材センターの目標は

『傷害事故ゼロ』『賠償事故ゼロ』を達成する!



平成 27 年度は、傷害事故 2 件、賠償事故 1 件、自損事故 1 件が発生しました。

事故原因は、慣れた作業の油断や体調不良、作業環境変化への見落とし、事故防止対策の不備等が絡み合ったことにより生じていると思われます。

楽な作業はありませんが、就業前には安全ミーティングを行い、作業成果の目標や作業方法をしっかり把握していただき、事故のない充実した日々を過ごせるよう期待しています。

平成 28 年度は、委員の任期満了に伴い、安全・適正就業委員会も新体制で事故防止や体調管理の啓発、適正就業の確保等に取り組んで参ります。

就業される皆さんには、現場や講習等に於いて厳しく協力要請をさせて頂くことがあると思いますが、『怪我をしない』『事故を起こさない遭わない』を合言葉に有田川町シルバーの目標達成に邁進して頂きますようお願い申し上げます。

最近、気になることがあります。それは、心臓疾患、高血圧、腰痛、関節痛等の持病を有する会員が増えていることです。バランスの良い食事を摂り、適切な運動と休養等を習慣化して、元気な日々を重ねられますことをお祈り申し上げます。

😊 ボランティア活動ガンバリました 😊

😊 『きび健康福祉まつり』に参加

平成 27 年 5 月 17 日 (日) 9 名参加して
「シルバー」PR してきました！
(主催者発表 1000 名参加)



😊 『アジサイ祭り』(金屋石垣地区) 参加

平成 27 年 6 月 14 日 (日) 9 名参加
アジサイの花、今年も満開…
シルバー管理園のアジサイも見事。餅投げも楽しかったよ！



😊 『紀州路クリーン大作戦'15』に参加

平成 27 年 9 月 12 日 (土)
自分たちの生活に必要な道路を、
自分たちで守っていくため 40 名参加。
9 月とはいえ、暑い中がんばりました。

😊 『どんどん祭り』に参加

平成 27 年 10 月 18 日 (日)
「シルバー人材センター」コーナーを設け 13 名にて PR。
町外の参加者が多く、年々増えているように感じました。
(主催者発表、土・日で 35000 名参加)

😊 『有田川町かなや文化祭』に参加

平成 27 年 10 月 25 日 (日)
「コーナー」を設け PR しました。



😊 『第 2 回清水ふるさと祭り』に参加

平成 27 年 11 月 15 日 (日)
名称変更してから 2 回目の「清水ふるさと祭り」へ
7 名が参加。多くの清水地区の皆さんとお会いできました。
(主催者発表 2000 名参加)

😊 第 34 回 みんなの有田川 『クリーン有田川』運動に参加

平成 28 年 2 月 6 日 (土)
町のシンボル“有田川”をきれいにと…
寒い時期でしたが、皆さんと頑張りました 50 名参加。



みんなで楽しく参加して
我らの町をきれいにしようよ！

家事支援部だより

介護保険サービスの一部 町の事業に 担い手にシルバー人材センターも!

いま介護保険制度は、介護や要支援を必要とする度合いの低い方から、要支援 1・2、要介護 1～5 の七段階に分かれています。要介護の段階に応じて、全国一律の介護保険サービスを利用できるようになっていますが、平成 29 年度からは介護の必要性が比較的低い「要支援 1・2」の人を対象とした介護サービスのうち、訪問介護と通所介護は、町の事業として実施されることとなります。

この制度の改正により、いま専門事業者が提供している清掃、洗濯、調理といった家事援助サービスを、平成 29 年度からシルバー人材センターやボランティア団体、NPO 法人なども、サービス提供をすることが出来るようになりました。

シルバーには、高齢者が高齢者を支えるという理念があります。当シルバーにおいてもこの支援の担い手として対応できるよう検討を重ねますが、この一年で受注者側としての体制づくり、支援する会員への事前説明、研修会等々 万全を期する必要があると思います。

家事支援が出来る会員さんが多く必要となります。

みなさまの絶大なるご協力をお願いします。



連合会からの派遣を終えて

【上嶋事務局員に聞く】

地域人づくり事業（シルバー人材センター就業開拓推進事業）において、推進委員に委嘱され、平成 27 年 3 月から平成 28 年 2 月までの一年間、県シルバー連合会から有田川町シルバー人材センターに出向いたしました。

私に与えられた仕事は、有田川町シルバー人材センターの新規会員を増やし、また新しい就業場所を拡大することでした。当センターの皆様のご協力をいただき、この一年間で新規会員 76 名、新規就業 97 件の実績を上げることができました。本当にありがとうございました。

引き続き、当センターの事務局員として吉備連絡所で勤務しています。

会員さんにお願ひ

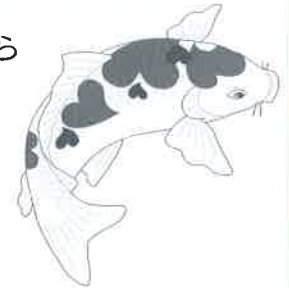
会員が就業できそうな内容・場所等の情報（感触でも可）をいただきたく
よろしくお願ひします。情報をいただけたら、詳細調査等は事務局で対応します。

会員の広場 就業体験記等

“思いやり”の言葉で母を思う

清水地区 松平 三久

シルバーの会員になったのは一年半前です。
 シルバー会員の活躍状況は、就業体験記で見えています。
 私は、昨年夏頃から、近くの家庭池の浄化ポンプの水洗い清掃に、月一回くらい行っています。一人作業で会話無し。
 池の鯉に独り言「ちょっとそっちに行ってくれ」「そんなに水はねるなよ」と。
 清掃後、池の中にポンプをセットし電源入れて完了です。
 奥様が見に来て、「鯉も喜んでるわ」「有難うコーヒー飲んで帰って」
 言葉の通じない生き物にも、私にも思いやりの言葉を掛けてくれる。
 その時、ふと母親を思い出しました。



「健康第一で頑張っています」

吉備地区 島田 雅昭

シルバーに入会して三年が経過しました。いつもシルバーの事務局の皆様にお世話になり感謝しています。

発注者の指定する現場に行くためには、車・バイク等で行きますが、交通安全第一を考えます。高齢者になると若い時の運転と違い、状況を把握して判断する能力が低下として現れるので、充分注意して安全運転に心がけています。また時間に余裕を持って運転するようにしています。

七十歳を過ぎると健康面にも気をつけています。

天気の日、自転車でポツポツ道を藤並駅から鉄道公園を往復したり、一日三千から六千歩を歩くように心がけています。

何時までも健康で働ける様に日々努力している昨今です。



シルバーの会員一年生

金屋地区 上山 恵美子

わたしは、永年スーパー関係の仕事に携わっていましたが、今後は社会に貢献することを目的に主人と一緒に入会しました。会員として働きだして、一ヶ月と少しが過ぎました。ホヤホヤの一年生です。仕事内容は、プラスチックごみの仕分け作業です。最初は、家庭でもゴミの仕分けが難しいのに、私に出来るのか心配だったのですが……色々分からないことは、仲間の人達がやさしく教えてくださるので、すごく楽しく仕事が出来ています。

又、仕分けしたプラスチックはリサイクル品として買い取ってくれると聞き、少し役立っているのかなあとと思っています。シルバーに入会出来たことを喜んでます。これからも頑張ります。

シルバーに入会して

吉備地区 吉田 春夫

入会して七ヶ月が経ちました。ある人に奨められて入会しました。

本職は、舟関係の電気配線、修理等を手掛けた電気屋でした。生まれた実家は百姓で、今まで草刈り・稲刈り・稲かけやみかん採りの仕事をしてきましたが、みかん採りの仕事もこれからしたいです。

今、中善商店さんの記帳・駐車場整理の仕事を、先輩に教わりながら仕事をさせてもらっています。大変な時もありますが、シルバーの仲間と一緒に仕事をするのが楽しいです。

最近、目が見えにくく足が痛いですが、身体に注意しシルバーの仲間とこれからも頑張りたいです。

無邪気な笑顔に励まされる

金屋地区 片畑 いつ子

シルバーに入会し「学童保育」の支援員として携わって三年目になります。子どもが好きというだけで学童保育の内容を把握していなかったため、シルバーで学童保育の雑誌をお借りして読ませて頂いた事もありました。

就業してからは、先輩の支援員の方々に親切に教えて頂き和やかな雰囲気の中で、働けるのをとても感謝しています。また、子ども達からは無邪気な笑顔に励まされたり、ちょっとした言動にびっくりしたり笑わされたり、日々元気をいっぱい貰っています。

これからも子ども達が安心して安全に過ごせるように。

生活の場として豊かなものにしていけるように。

そして子ども一人ひとりに寄り添える支援員をめざして努力してまいりたいと思います。



安心されるシルバーに

金屋地区 田中 晃

私は、調理師免許、ふぐ調理講習修了書を持ち、鮮魚調理等をやってきた職人です。マスコミを通じてシルバー人材センターを知りました。入会して一年ですが、土地柄から蜜柑の摘果収穫等の農作業に多く声をかけてくれました。初心者ですので、不安が先に立ちますが、数多くの先輩に教えて頂き、不安から解放されていきました。

今後も、農作業の従事が多くなると思いますが、「シルバーに依頼したら安心やよ」その言葉がいただけるように頑張ります。

仕事を探してくれるシルバーに感謝

吉備地区 岡本 美和子

私は、60才になると同時にシルバーに入会しました。魅力は仕事を紹介してくれることです。会員になってすぐに、熊井の工業団地の共同印刷(株)で、絵の具のふた締めの仕事をお願いしました。一週間でしたが、初めて会った人も仲良く話しをしてくれ、和気あいあいと仕事をする事ができ、楽しい思い出作りが出来ました。

次は、大谷のMさん宅の仕事で、みかんの木の花のつぼみを摘める仕事でした。畑で食べる弁当は格別でした。Mさんも素晴らしい方で、楽しく仕事をさせていただきました。ここでも友好の輪を広げることができました。シルバー人材センターに感謝しています。



若返ったよ

吉備地区 白石 隆夫

シルバー入会のきっかけは、家でぶらぶらしているよりも、運動がてらと思い入会しました。入会してまだ半年ぐらいです。

シルバーから紹介された仕事は、有田自動車学校の生徒の送迎と免許センターへの送迎の仕事です。もともと大型免許は持っていたし、車の運転に慣れているので引き受けました。清水方面まで送迎しますが、生徒はほとんどが若い子達で、何か自分も若返った気持ちになり、楽しかったです。事故を起こさないように安全運転に徹し、シルバーに迷惑をかけないように心がけました。

他の仕事は分かりませんが、ゆっくり覚えたいと思います。よろしく願います。

人生... もう60年以上

感動の思い出と共に♪

父の肩車

中井 ひろみ (金屋地区)

小学校低学年の頃、隣り組のバス旅行で、枚方の菊人形を見にいきました。混み合う観客の中で、父に肩車してもらって見た「お猿のかご屋」。

エーサ、エーサの曲に合わせて駕籠を担いだ人形の猿が、舞台の上で行ったり来たりする様子の面白さと、長い時間肩車してもらい、父を一人じめに出来た嬉しさが、いい思い出になっています。

それから五十年程も時を経て、枚方パークの菊人形展が、終了されることを知り、家族で最後の年に見物に行きました。昔と変わらない菊人形の艶やかさを見て、若くして亡くなった父の思い出と共に、幼い頃の嬉しかった肩車での「お猿のかご屋」が甦りました。

どちらの日も楽しい一日でした。



ふり返ってみれば

細 勲男 (金屋地区)

ふり返ってみれば、あれから早くも十八年。幾度か挫折しかけたこともあったけど、昭和三十八年に入社して以来、職場を替わること十回あまり、仕事柄、朝に家を出れば帰宅は翌日の昼頃の生活。

家のことは妻まかせ、子供の面倒を見ながら農業に励む妻をたよりに精勤に職場通いして、早や三十七年。

大きな事故もなく平成十年、無事に定年を迎えて。ふり返ってみれば長くもあり、あつという間の鉄道人生でしうれしかったなあ。



国宝に魅せられ…… 岩上 豊頭 (吉備地区)

社会に出て最初の仕事が「新国宝」との出会いであった。戦前、乱発ぎみの国宝を全て重要文化財に格下げし、一級品を新国宝に指定し直したのが

昭和26年からで、私が入社した出版社はその図版目録を作成した。私は写真撮影が担当で、わが国の超一級品の数々との出会いは衝撃的だった。

以後、教師時代・教育行政時代において、国宝との出会いがベースになっている。書棚には、国宝図録や世界の美術全集など、美術関係以外の書は一冊もないのが所以だ。

国宝より上にランクされる正倉院御物を含め、多くの芸術品との出会いを懐かしんでいる今日この頃である。

「くるみ」との出会い

河村 彰夫 (清水地区)

定年後、私は両親が住んでいた地区の近くへ都会より移住して来ました。

無職、田舎… ひま、メタボとなってしまいました。そんなダメな私を変えてくれたのが、一匹の雑種犬との出会いでした。

犬を飼う前は、2~3日外に出なかったこともありましたが、雨の日も雪の日も、一日一回は散歩に出るようになりました。生活はすっかり、愛犬「くるみ」中心となりました。そして昔やっていたテニスを再開。犬友も出来ました。

今、殺処分される犬が多くいます。犬が人を変える事もあります。一匹でも不幸な犬が少なくなる事を願っています。



今が一番！ 下向 紀富美 (吉備地区)

仕事中心の人生、気がつけば定年を迎えていました。仕事を優先し、決して良い母親とは言えませんでした。二人の娘は、やさしく逞しく育ってくれました。今は二人とも近くに嫁ぎ、六人の孫達と小さな幸せを運んで来てくれます。

二年前この地に転居し、友人の紹介で一年前にシルバーに入会させていただきました。仕事を通して地域の人々とのふれ合い、交流の機会を得ました。先日、摘蓄の仕事で仲間と自然の中で、「みかんの花の香」「鶯のさえずり」眼下に流れる「有田川のきらめき」なんて素晴らしい景色の中で、生き生きと仕事が出来ると喜びを感じました。

私には三つの宝物があります。「健康」「自由」「友人」、今後も大切にしながら、残された人生、日々感謝と共に過ごしたいと考えています。

山の同級生らと

土谷 将仁 (金屋地区)

私は山間部の田舎出身です。中学校は家から約4.5キロ、約一時間の山道を通学しました。同級生は男子四人、女子四人でした。春、夏、秋は四季折々の美しさや楽しみがありました。冬は通学は大変でした。

当時は雪が50〜60cm、多い時では1m程つもりました。私達は家を二時間早く出て、待ち合わせ集合し男子は女子のカバンを、女子は軽い荷物を、助け合い励まし合ひ…。三年間、一人の欠席者もなく全員楽しく卒業した事は、大切な思い出です。なお、当時の同級生八人は今も元気です。すごしています。



青年団で富士山麓へ

森本 義人 (清水地区)

昭和四〇年前後は、青年団の団員数も多く、行事も多岐にわたり、活動も活発でした。活動を通じて多くの皆さん方と知り合いになり、今でも気さくに話し合える、日々の中で大変助かっていることに感謝の日々です。

青年団活動の中で、私の楽しみはいつも、静岡県御殿場市にある国立青年の家での研修でした。青年の家は「来た時よりも美しく」と、掃除の行き届いた綺麗な施設で、他県青年団員との交流も有意義であったし、スキーの野外活動も楽しく満喫できましたが、私は何よりも感動したのは、目の前にそびえる富士山の美しさでした。朝日に、また、夕日に赤く染まり映える富士山は優美・雄大で今も心に鮮明に残っています。



退職でルンルン

山崎 一幸 (吉備地区)

平成17年12月に退職して、早くも10年が経ちました。その年は翌年に三町合併を控え、また吉備町最後の年という事で忙しい大変な一年でした。最後の日は送別会が行われ、町長さんや職員の方々に花束やねぎらいの言葉を頂き見送っていただきました。

無事に退職できた事で、安堵感と開放感もあり、ストレスがなくなった事を覚えています。一番嬉しい時だったと思います。退職後は、区や町の役やシルバーの事務職員としてお世話になり、何かと忙しい生活の中で、新しい出会いやいろんな経験をさせていただき充実した毎日でした。



気付けば10年が経っていました。あつと言う間のような気がします。これからは、家族に負担をかけていたので少しでも農業に精をだしたいと思います。

孫、ひ孫が何より

山城 スミエ (吉備地区)

高校卒業して、人生経験もなく嫁いで早や52年。様々な事がありました。息子も娘も片付き、これから二人で楽しめると思った矢先に主人に先立たれ、何も手につかずに娘が「オークワが出来たから、そこへ行かせてもらったら」とすすめてくれ、十年間勤めさせてもらいました。

それからシルバーに入会させてもらい十年目。お陰で大勢の友人が出来て、仕事も色々させてもらい楽しいです。一番嬉しいのは、孫や、ひ孫たちが「おばあちゃん」と言って、寄って来てくれる事です。

三人の子に恵まれ……

石谷 千多美 (金屋地区)

私は、子供の頃、兄弟が多い家庭に憧れていました。父は私が生まれてすぐに、戦争に行き戦死しました。それからは、母と祖母と私の三人の生活でした。私が十四歳の時、祖母が他界し母と二人になりました。けれど寂しいと思わなかったのは、母の弟・妹のおじさんやおばさんに助けられたからだと思います。家族や兄弟が多い友達を、うらやましく思った時もありましたが、主人と結婚してから三人の子供に恵まれ、母との六人家族になった時は嬉しかったです。楽しかった事や、悲しかった事、沢山ありましたが家族がいたから、頑張れたと思います。その後、母は他界し、子供達も結婚。孫が産まれた時は、感激しました。今はおかげで幸せな生活を送っています。



シルバー同好会だより



平成23年度よりスタートした「シルバー同好会」は、早や6年目を迎えました。趣味を活かし、健康と生きがいと仲間づくりを目的として、会員相互の親睦を図りながら活動を行ってきました。

同好会は、グランドゴルフ・ゴルフ・手芸部・カラオケ・野菜づくりと5部門が活動しています。活動状況は下記「実績」の通りです。

なお、平成23年度のスタートから平成27年9月実績で、延べ参加人員が1000人を突破しました。同好会を通じて、知らない仲間が、共通の趣味を生かして交流の輪が広がるものです。入会されていない会員さんには、今後積極的に入会され活動していただきたいと思ひます。

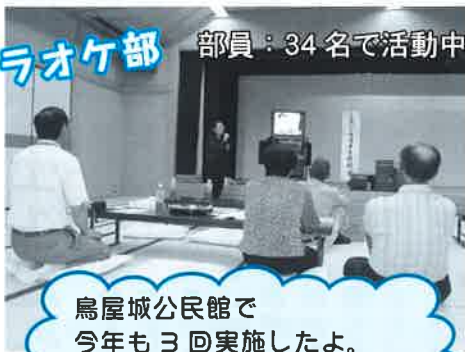
平成27年度活動実績

部	部員数	活動状況	参加人数
グランドゴルフ部	49	6/19, 9/17日 (第8, 9回理事長杯)	67名
ゴルフ部	18	只今休部中	
手芸部	16	毎月2回(第2・4火曜)本部和室	113名
カラオケ部	34	5/16, 9/11, 2/20日 (鳥屋城公民館)	18名
野菜づくり部	7	9/11日	5名
計	124		延べ 203名

“趣味を生かして楽しみませんか”

カラオケ部

部員：34名で活動中



鳥屋城公民館で今年も3回実施したよ。皆さん歌いに来てよ……
楽しいですよ～

手芸部

部員：16名で活動中



講師指導のもとで、楽しくヤッテますよ～。一緒にいかがでしょ？

シルバー会員相互の親睦を図る意味からも、同好会活動は不可欠です。

いろんな企画のもとで各サークルが積極的に活動して会員相互の親睦を図るようお願いいたします。

ゴルフ部

部員：18名 現在休部中、復活に期待。



グランドゴルフ部

部員：49名で活動中



第8回理事長杯参加者。誰が優勝者かわかりますか？これからも体力づくりにがんばるゾー！

入部をお待ちしています！ 窓口：本部(32-5505) 吉備連絡所(52-4567)

子育てマランドだより

子育て支援を実施して、この 8 月末で 10 年を迎えます。開設当時の子ども達も大きく成長され、高校生活を送っている姿を見た時は、心から嬉しく思います。

私たち支援員は、子ども達が豊かな放課後を過ごせるように（発達の保障）保護者が安心して働けるように（就労の保障）この 2 つの目的を果たすための役割を担っています。



支援員も資質向上のため、積極的に放課後児童育成事業の目的及び制度内容等についての研修を受講して、常に前向きに努めています。

学童では、平成 27 年度も遠足や行事に取り組み、“体を動かして遊ぶ”“遊びながら学ぶ”をテーマに取り上げました。

大阪・大型児童館「ビッグバン」に行きました。宇宙に触れるコーナー等もありましたが 53m の大型遊具「巨大ジャングルジム」にチャレンジしたことが楽しかったようです。



3 月には、紀州梅干し館で梅ジュース作りの体験をしました。持ち帰り完成する 10 日後に家族と飲み「美味しかった……」という声が多くありました。自分で作った味が格別だったのだと思います。

また、子ども達の意見も聞き、とれとれ市場での“買い物体験”も取り入れました。



新 1 年生を迎え、平成 28 年度がスタートして賑やかな日々を過ごしていますが、今年度も「元気で明るく、お友達と仲良く、思いやりのあるやさしい子ども達」を、

また異年齢の子ども達の「つながり・ぬくもり・あこがれ」を経験できるように集団の中での成長を見守り、安全・安心に過ごせるよう配慮していきたいと思

○ 事務局だより ○

平成27年度は、会員数は408名(H28/3末、昨年比42名増)、受託事業実績は81,610千円(H27/3末80,950千円、昨年比0.8%増)、労働者派遣事業の実績は3,280千円(H27/3末80,94千円、昨年比60%減)でした。

厳しい状況下で、このような実績を得られたことは、会員各位の努力の賜です。今年度も引き続き受託事業・労働者派遣事業の拡大に取り組みますので、会員の皆さまも、地域の事業所や一般家庭から、会員の就業に繋がるような情報がありましたらセンターへお知らせ下さい。

平成28年度は、会員の皆さまが健康第一で「事故ゼロ」「安全第一」をモットーに就業出来るよう、会員・役員・事務局が一体となり取り組みます。

また、「同好会活動」の充実にも努め、「会員相互の親睦」を図るため、役員さん共々頑張ります。

【当センターとして現在検討している内容を説明します】

項 目	対 応 等
1. 介護予防・日常生活支援総合事業への参画	平成 29 年度より実施予定の同事業への取り組みについて検討します。
2. 労働者派遣の拡大	派遣先事業所の開拓に取り組みます。
3. 事務所移転関係について	会員の利便性、職員の安全性の確保、経費削減等を考慮し旧消防署跡地への移転について、引き続き町と協議していきます。

シルバー事業の取り組み推進について

一・受託事業

役員一体となり企業、家庭、公共団体等を訪問し、事業拡大に取り組み会員への就業提供に努めます。会員の皆様も情報提供等、事業拡大に積極的に参加して下さい。

二・家事支援事業

高齢者福祉サービスの推進のため、見守り訪問(安心サポート)の充実に取り組みとともに有田川町との連携を強化し介護予防・日常生活支援総合事業への参画に向けスタッフの養成に取り組みます。

三・放課後児童健全事業(学童保育)

放課後児童健全育成事業委託契約に基づき、「かなや子育てランド」と「つばさクラブ」の健全な運営に取り組みます。また、各種研修等に積極的に参加し、スタッフのレベルアップを図ります。

四・SSP事業

上部団体と連携し五十五歳以上の方の就職を支援するため農業支援技能講習会を開催します。

五・その他の事業

☆ 刃物研ぎ受託事業

吉備連絡所において定期的に実施していますので会員の皆様も近隣の方へのPRお願いします。

☆ シルバー人材センター等一般労働者派遣事業

県連合会が派遣元となり、「シルバー派遣」という働き方も出来るようになりました。

**会員が四〇八名です。
シルバー向きの仕事ありませんか？**

ご紹介ください。

会員さんは、地域の事業所や一般家庭からシルバー人材センター会員が就業に繋がるような仕事の開拓・情報等をセンターにお知らせ下さい。

- ・ 家事援助 (留守番・介護・室内清掃など)
- ・ 簡単な大工・左官・塗装など
- ・ みかん関係農作業など
- ・ 草刈り、畑仕事など
- ・ 庭木の剪定作業など
- ・ 石垣積み作業など

◆ 編集後記 ◆

当シルバー人材センターが設立されてから10年になりました。今回の機関誌は「目で見る10年」、「10周年を振り返って」を掲載しています。当時の関係者にご協力をいただき会員の皆さま方に10年間歩んできた内容を少しでもご理解いただければと思っています。

また、今回も多くの方の会員さんにご参加いただけるよう取り組みました。

広報部一同